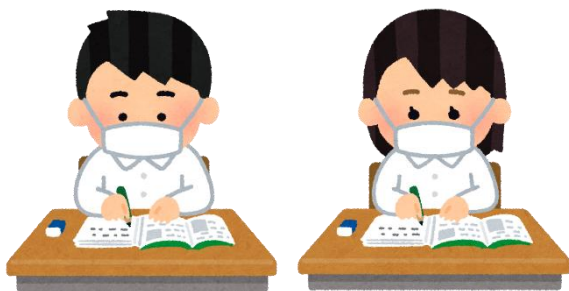


第1回実力テストを終えて

昨日、3年生になって最初の実力テストを実施しました。実テとしては昨年度の12月に次いで2回目になります。去年の実力テストでは、社会、理科、数学での積み重ねができていない人が目立ちました。授業や定期テストではできていたことが、時間が経ってできなくなっていました。わかったつもりで、実は定着していなかったのですね。短期的な学習だけでなく、中、長期的な学習について考えるいい機会になったと思います。その反省を活かすことができたか、今回の結果で確かめてみましょう。

とは言え、答案用紙が返ってくるまで何もしていないのではテストをする意味が半減してしまいます。特に今回は採点も業者に委託していますので、テストが返却されるまでに若干の時間がかかります。点数を見るころには問題の内容を忘れてしまっているなんてことはさすがにないでしょうが、それまでにできることはしっかりと取り組んでおかないといけません。

昨夜は問題の見直しをしたでしょうか？全く歯が立たなかった問題を放っておいて、次はできるようになることはありません。テストを返却されて解説を読んだところで、せいぜいわかったつもりになっておしまいです。あやふやな理解で自信がない問題は、そのままでは次も悩むに決まっています。そうわかっていながら、次はがんばると百回言ったところで何も変わらないことはとっくに知っていますよね。



枚方市立招提北中学校

3年学習進路部

・20.6.18.Thu.

第3号



力ある巣立ちのために

できた問題は見る必要はありません。できたつもりで間違ったときは、あとでみっちりと考え直したらいい話です。でもできなかった問題や山勘頼みの解答をしたような問題をやり直さないのは、実にもったない話です。勉強がわかるようになるチャンスをみすみす逃す手はありません。このタイミングが大事です。

問題を説き直すときにはほとんど考えることももちろん必要ですが、ノートや教科書を見直したり、参考書を読んだり、ネットで調べたり、誰かに教えてもらったり、とにかくジタバタすることです。なんとか答えを出してみる、その上でテストの返却の際に説明を聞いたり解説を読むことです。そうすることで、その問題が自分のものになります。

もっと言えば、その問題だけでなく理解できていない分野に気づけば、その復習をします。本当に苦手な教科は、1から勉強をやり始めます。そもそもの学習に対する考えが甘かったり間違っていることに気づいたなら、生活態度や習慣から見直しましょう。

なにもかも一気にできるものではないでしょう。でもテストを受けて「はい、おしまい！」と平気であるようでは、来年の春に泣く思いをするのは目に見えています。1学期の期末テストまで一か月あまり、つぎの第2回実力テストまで二か月とちょっとです。

Time flies!